



JUNIPER SECURE CONNECT のデータシート

製品概要

Juniper Secure Connect は、柔軟性の高い SSL VPN および IPsec アプリケーションで、リモートワークが企業およびクラウドリソースにセキュアにアクセスできるようにし、あらゆる場所からあらゆるデバイスに信頼性の高い接続性と一貫したセキュリティを提供します。Juniper Secure Connect は、Windows、Apple macOS、iOS、iPadOS、Android などのデスクトップおよびモバイルデバイスで利用できます。SRX シリーズのファイアウォールと組み合わせることで、企業は最適なパフォーマンスとクライアントからクラウドへの接続性を迅速に実現できるようになり、場所がどこであれ、ユーザーとデバイスの可視化とポリシーの適用を拡大することでリスクを軽減します。

製品説明

リモートワークや支店/拠点の拡大などを背景に、企業の分散化がますます進んでいます。この分散されたトラフィックを保護するには、ネットワークを深く可視化し、あらゆる接続ポイントでポリシーを適用する機能が必要です。

Juniper® Secure Connect では IP 接続性を活用しており、企業はセキュアなエンドユーザーアクセスを提供することができます。ジュニパーネットワークスの SRX シリーズファイアウォールをヘッドエンド SSL VPN および IPsec の終端ポイントとして活用して、キャンパスやデータセンター、クラウドに導入することで、Juniper Secure Connect が、Windows、Apple macOS、iOS、iPadOS、Android を実行するユーザーデバイスから重要なリソースにセキュアにアクセスできるようにします。Secure Connect の導入は簡単です。クライアントアプリケーションでは、すべての接続に最新のポリシーが使用されるようにする必要があります。導入にかかる時間と継続的なトラブルシューティングを軽減するために、エンドユーザーや管理者に関与させる必要はありません。

アーキテクチャと主要コンポーネント

SRX シリーズファイアウォールのアドオンライセンスとして提供される Juniper Secure Connect は、IP 接続性を活用して、あらゆる場所にいるユーザーにセキュアなアクセスを提供します。Juniper Secure Connect は、物理フォームファクタ、仮想フォームファクタ、そして as-a-service フォームファクタで SRX シリーズのファイアウォールと連携し、あらゆる場所のユーザー、デバイス、データをサポートするための接続性とネットワークセキュリティを提供します。

Juniper Secure Connect アプリケーションは、セキュリティと使いやすさを高める追加機能を備えています。これらの機能には、接続を確認する前に実施するバイオメトリクス認証と自動ポリシー検証が含まれます。外部の多要素認証ソリューションを使用したログオン時に、Windows プレドメインログオンを使用して、Windows デバイスの検証と、最新の Active Directory グループポリシーへの更新を確実にします。

セキュリティポリシーは、Juniper Secure Connect を介してデバイスに適用されます。これらのポリシーでは、このトラフィックが信頼できないものとして扱われる可能性があります。Secure Connect は、ジュニパーネットワークスの AppSecure、侵入防御システム (IPS)、コンテンツセキュリティ、および Advanced Threat Prevention を活用して、セキュリティをリモートデバイスへと拡張します。これにより、ネットワーク全体にわたって一貫したセキュリティが確保され、適切なレベルのセキュアアクセスが提供されます。

Juniper Secure Connect では一貫したセキュリティポリシーを活用しており、企業は支社/拠点やホームオフィス、およびホテルや会議などの他のネットワーク内でリモートで作業する従業員に対して、効果的な脅威防御を提供することができます。

データフローは、アプリケーション、ユーザー、IP アドレス、URL によって特定できるため、IT チームはこれらのデータフローの一部に優先順位を付けたり、より深く検査したりすることができます。Juniper Secure Connect では、ポリシーですべてのトラフィックを VPN 接続でルーティングするよう要求したり、分割

特長とメリット

特長	説明	メリット
デスクトップおよびモバイルデバイスで使用可能	Juniper Secure Connect は、Windows、Apple macOS、iOS、iPadOS、Android オペレーティングシステムで利用できます。	管理対象デバイスと管理対象外デバイスに、柔軟でセキュアなアクセスを提供します。
ゼロタッチ設定	Juniper Secure Connect は、最新のポリシーをセキュアかつ自動で検証し、ユーザーが常に正しいセキュリティポリシーを適用できるようにします。	常に最新のセキュリティポリシーが提供されるため、ユーザーは常に安全で、いつでも適切なリソースにアクセスできます。
MFA およびバイオメトリクス認証	セキュリティを向上させるため、業界をリードする多要素認証 (MFA) ソリューションからの外部多要素認証をサポートしています。 また、ハードウェアがサポートされているデバイスでは、内蔵されたバイオメトリクス認証もサポートします。	リモートユーザー向けに 2 段階認証を利用することで、企業のセキュリティを強化します。
包括的なセキュリティと可視化	企業以外のネットワークからやってくる未知の脅威や既知の脅威を特定してブロックするには、Juniper Secure Connect を介したユーザーアクセスにおいて、IPS や Juniper Advanced Threat Prevention、高度なセキュリティ対策が必要です。	リスクを軽減し、リモートアクセスユーザーが既知または未知の脅威を持ち込まないようにするために必要となる可視化を提供します。

Juniper Security Director Cloud

Security Director Cloud は、単一の UI で提供されるジュニパーのシンプルかつシームレスな管理エクスペリエンスであり、お客様の現在の導入を将来のアーキテクチャ展開に結び付けます。

Juniper Connected Security 戦略は管理を中心としたもので、企業はネットワーク上のあらゆる接続ポイントを保護してユーザー、データ、およびインフラストラクチャを保護することができます。

企業は、オンプレミス、クラウドベース、クラウド配信、ハイブリッドなどのあらゆる環境全体にわたって、一貫したセキュリティポリシーでアーキテクチャを保護し、エッジからデータセンター、アプリケーションやマイクロサービスにいたるまでのネットワークのすべての部分にゼロトラストを拡大することができます。Security Director Cloud では、企業は途切れることのない可視性、ポリシー構成、管理、収集した脅威インテリジェンスをすべて 1 つの場所から利用できます。

ジュニパーは、お客様が移行のどの段階にいるのであれ要件を満たして、既存の投資を活用できるようにサポートし、Security Director Cloud で移行を自動化することで、お客様のビジネスに最適なペースで、希望するアーキテクチャに移行できるようにします。

Juniper Secure Edge

Juniper Secure Edge は、必要とされている高速で、信頼性の高いセキュアなアクセスで、あらゆる場所にいる従業員を保護します。FWaaS、SWG、DLP を備えた CASB、ZTNA、Advanced Threat Protection を含むフルスタックの SSE 機能を提供し、Web、SaaS、オンプレミスアプリケーションへのアクセスを保護

トンネリングをサポートするよう設定したりすることができ、トラフィックは最適かつ最も安全なルートを確認することができます。

して、ユーザーがどこにいてもセキュリティを提供します。ジュニパーはお客様の現状を把握して、今あるものを活用し、ゼロトラストの取り組みをクラウド配信型のアーキテクチャに拡張することで、多額のコストをかけたり運用チームに支障をきたすことなく、お客様の望む方向へと導きます。

Security Director Cloud によって管理される Juniper Secure Edge では、単一のポリシーフレームワークを採用しており、セキュリティポリシーを一度作成すれば、ユーザー、デバイス、データがどこにいても同じポリシーを適用することができます。お客様はクラウド配信セキュリティを採用する際に、最初から始める必要はありません。3 回のクリックで完了するウィザードで、既存のキャンパスエッジポリシーを活用して、SSE ポリシーへと簡単に変換することができます。導入モデルに関係なく、単一のポリシーフレームワークを使用するため、Secure Edge では、従来の導入からクラウド配信モデルへと、わずか数回のクリックで既存のセキュリティポリシーを適用することができ、誤設定やリスクを軽減することができます。

保護する対象がリモートユーザーであれ、キャンパスおよび支社/拠点、プライベートクラウド、パブリッククラウド、またはハイブリッドクラウドデータセンターであれ、ジュニパーはすべてのアーキテクチャに統一された管理と途切れることのない可視化を提供します。これにより、運用チームは、現在の投資を SASE などの将来のアーキテクチャ目標へと容易かつ効果的にブリッジできます。お客様は、オンプレミスであれ、クラウド内またはクラウドからであれ、どこからでもセキュリティを管理することができ、あらゆる場所にいるユーザー、デバイス、データに

適用されるセキュリティポリシーを、単一の UI から管理することができます。

ユーザーには、必要なデータやリソースへの高速で、信頼性の高いセキュアなアクセスを提供することで、優れたユーザーエクスペリエンスを確保できます。IT セキュリティチームは、既存の投資を活用しながら、ネットワーク全体をシームレスに可視化することができるようになり、自分のペースでクラウド配信アーキテクチャへと移行できます。

Juniper Secure Edge からあらゆる場所のユーザー、デバイス、データに一貫したセキュリティポリシーが提供され、ルールセット

仕様

特長	Windows	MacOS	iOS	Android
OS バージョン	10.x 以上	10.13、10.14、10.15	9.3 以上	4.4 以上
次世代の暗号技術		○		
クライアントベースの SSL VPN		○		
デッドピア検出 (DPD)		○		
分割トンネリング		○		
MFA		○		
バイOMETRICS 認証		○		
ゼロタッチのアプリ設定		○		
Windows プレドメインログイン	○	×	×	×
Juniper Secure Connect のライセンスとサポート期間		1、3、5 年間		

注文情報

Juniper Secure Connect の使用を開始するため、ソフトウェアライセンス情報にアクセスされる場合は、次のジュニパーのサポートサイトのリンクをご利用ください。

- [Windows](#)
- [macOS](#)
- [iOS](#)
- [Android](#)

詳細については、[ご購入方法](#) ページをご覧ください (<https://www.juniper.net/jp/ja.html>)。Juniper Secure Connect ライセンスは、スタックブルで、ライセンスの使用はヘッドエンド SRX シリ

をコピーしたり再作成したりする必要がありません。クラウド配信アプリケーション制御、侵入防御、コンテンツおよび Web フィルタリング、効果的な脅威防御も、可視化やセキュリティの施行を損なうことなく簡単に導入できます。

ジュニパーは、過去 4 年間にわたって、複数のサードパーティ試験で、市場で最も効果的なセキュリティ技術として検証され続けており、すべてのユースケースで 100% のセキュリティ効果を発揮しています。

ーズのファイアウォールに接続されている現在のユーザー数に基づいています。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、ネットワーク運用を劇的に簡素化し、エンドユーザーに最上のエクスペリエンスを提供することに注力しています。業界をリードするインサイト、[自動化](#)、[セキュリティ](#)、[AI](#) を提供する当社のソリューションは、ビジネスで真の成果をもたらします。つながりを強めることにより、人々の絆がより深まり、幸福、持続可能性、平等という世界最大の課題を解決できるとジュニパーは確信しています。

Corporate and Sales Headquarters

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA

電話番号 : 888.JUNIPER (888.586.4737)

または +1.408.745.2000

www.juniper.net

APAC and EMEA Headquarters

日本, 東京本社
ジュニパーネットワークス株式会社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿 3-20-2

東京オペラシティタワー 45 階

電話番号 : 03-5333-7400

FAX : 03-5333-7401

www.juniper.net/jp/ja/

JUNIPER NETWORKS | Driven by Experience

Copyright 2022 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks, Juniper Networks ロゴ、Juniper、Junos は、米国およびその他の国における Juniper Networks, Inc. の登録商標です。その他すべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に所有権があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。